

学ぼう!

知ってましたか?

Pekko
Manabu
Be

「うっかりドーピング」

☆ドーピング検査が行われる大会

すべての競技大会で実施しているわけではありません。主には、国民体育大会や全日本選手権大会などの全国レベルの大会で、ドーピング検査を実施するケースが多いです。ドーピング検査を行う選手は「優勝者」や「入賞者」とは限りません。入賞していない選手が実施することもあります。競技会検査では、競技会に参加している全ての選手が対象となります。

☆知らなかったですまされない「うっかりドーピング」

日頃、身近に使用している治療薬にはドーピング禁止薬物が含まれていることもあります。ドーピングに関する知識がないため、不注意で禁止薬物を含む薬を服用してドーピング検査で「陽性」になることがあります。これを「うっかりドーピング」と言います。たとえ意図的か意図的でないにかかわらず、うっかりではすまされません。

☆サプリメントにも注意が必要!

薬以外では、サプリメントが原因で「陽性」になることがあります。ネット通販等での海外製のサプリメントには特に注意が必要です。サプリメントは食品に分類されていますが、禁止薬物が混入していることがあります。サプリメントを利用する場合は、目的はもちろんですが、内容成分等をチェックしましょう。過度にサプリメントへの期待をすることなく、日々の食事を大切にしてください。



不安な時は、

気軽に薬剤師に相談しましょう!

薬を購入する場合や病院を受診する場合に、必ず自分がスポーツ選手であることを医師、薬剤師に告げることが必要です。そうすれば「禁止薬物」を含まれない薬を選択してもらうことができます。持病で服用していた薬にも「禁止薬物」が含まれていたとしても、きちんと申請をして承認しょうにんされればその薬を服用して大会に参加することができます。ドーピングで違反になる医薬品はごく一部です。薬に関する相談は薬剤師に聞くことが一番です。相談は岩手県薬剤師会や岩手県体育協会です。

岩手県薬剤師会 Tel:019-662-2467 岩手県体育協会 Tel:019-648-0400

(公財)日本アンチ・ドーピング機構公認ドーピングコントロールオフィサー

(公財)日本アンチ・ドーピング機構公認スポーツファーマシスト委員会委員

岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会委員

(有)かたくり薬局 薬剤師 本田昭二

参考資料

公益財団法人アンチ・ドーピング機構: <https://www.playtruejapan.org>

東京2020年オリンピック競技大会公式ウェブサイト: <https://tokyo2020.org>